

高等学校 令和5年度（1・2学年用） 教科 家庭科 科目 家庭基礎

教科：家庭科 科目：家庭基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 4組～5組 2学年 1組～3組

教科担当者：（4組：齋藤 芳賀）（5組：齋藤 芳賀）（1組：芳賀 齋藤）（2組：芳賀 齋藤）（3組：芳賀 齋藤）

使用教科書：（図説 家庭基礎）

教科 家庭科 の目標： 家族の生活の営みを人の一生との関わりの中でとらえ、生活の自立のための基礎的な知識・技術を身につける。

【知識及び技能】生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識・技術を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】生活の中から課題を見出し、解決策を構想し、実践を評価・改善するなど生涯を見通して課題解決する力を

【学びに向かう力、人間性等】生活者に必要な基礎的な知識を身につけ、生活の向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
家庭生活の意義、家庭生活と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な基礎的・基本的な知識と技術を身につけている。	家庭や地域社会における生活の中から、問題を見出し、その解決策を目指して思考を深め、適切に判断し工夫する能力を身につけている。	家庭や地域社会について関心を持ち、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したり、実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 住生活をつくる 【知識及び技能】住まいの機能や文化、生活行為に対応した住空間を理解し、バリアフリーやユニバーサルデザインの住環境について知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】ライフステージと住空間の関係、安全な住まいのために、どのような課題があるかをお出し、その解決に向けて思考・判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】住空間や住環境について関心を持ち、快適で安全な住まいづくりに意欲的に取り組む。	1、人と住まいのかかわり 2、平面図からみた住空間 3、ライフステージと住まいの計画 4、健康に配慮した住まい 5、安全な住まい 6、持続可能な住まい 7、これからの住まい 教材 ・教科書、副教材（生活ハンドブック） ・プリント ・視聴覚教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】住まいの機能や文化、生活行為に対応した住空間を理解し、バリアフリーやユニバーサルデザインの住環境について理解できる。 【思考・判断・表現】ライフステージと住空間の関係、安全な住まいのためにどのような課題があるかを見出し、その課題解決に向けて思考、判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】将来どのような家に住みたいかをシミュレーションし、よりよい住環境について考えを深めることができる。	○	○	○	8
	単元 高齢者とのかかわる 【知識及び技能】高齢者の現状、高齢者の心身の特徴、高齢期を支える社会制度やしきみについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】生涯を通しての社会福祉や社会保障のしくみについて、現在の生活上の課題と関連させながら考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】高齢者の現状、高齢者の心身の特徴について、自分の身近な課題として捉え、積極的に学習に取り組む。	1、高齢社会にいきる 2、高齢者を知る 3、高齢者のサポートと介護の心 4、高齢者を支えるしくみ 教材 ・教科書、副教材（生活ハンドブック） ・プリント ・視聴覚教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】高齢者の現状、高齢者の心身の特徴、高齢期を支える社会制度やしきみ、社会福祉の重要性について理解できる。 【思考・判断・表現】生涯を通しての社会保障制度の仕組みについて、現在の生活上の課題と関連させながら考えを深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】高齢社会の現状を自分の身近な課題として捉え、積極的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		0
	単元 社会とかかわる 【知識及び技能】社会福祉の意味、現在の社会福祉の状況、社会保障制度のしくみ、ボランティア活動の意義について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】社会福祉や生涯を通しての社会保障制度のしくみについて、現代の生活課題と関連させながら考える。 【学びに向かう力、人間性等】社会の一員として、ボランティア活動に興味関心を持ち、現在の社会福祉の状況を理解し、自分のこととして考えるなど意欲的に学習に取り組む。	1、共に生きる 2、社会保障制度 3、社会の一員として私たちの役割 教材 ・教科書、副教材（生活ハンドブック） ・プリント ・視聴覚教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】社会福祉の意味、現在の社会福祉の現状、社会保障制度のしくみ、ボランティア活動の意義について理解する。 【思考・判断・表現】社会福祉や生涯を通しての社会保障制度のしくみについて、現在の生活課題と関連させながら考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】社会の一員として自覚し、ボランティア活動などに興味関心を持ち、現在の社会福祉の状況を理解し、自分のこととして捉えるなど意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	単元 消費行動を考える 【知識及び技能】様々な契約、消費行動における意思決定の過程とその重要性、多様化している販売方法と支払方法、消費者の権利について理解する。 世界規模の環境問題に対して、現状を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】意思決定の過程において、具体的な事例を通して考え、主体的に判断できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】一人の消費者であることを自覚し、げんざいの自分の消費行動から課題を見出し、その解決策に向けて取り組む。	1、契約と主体的な消費行動 2、多様化する販売方法と問題商法 3、消費者を守る制度・法律 4、多様化する支払方法 5、消費者の権利と責任 6、持続可能な社会の構築 7、持続可能な社会をめざす取り組み 教材 ・教科書、副教材（生活ハンドブック） ・プリント ・視聴覚教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】様々な契約、消費行動における意思決定の過程とその重要性、多様化している販売方法と支払方法、消費者の権利について理解できる。 環境問題に対して、世界や日本の現状を理解できる。 【思考・判断・表現】意思決定の過程について、具体的な事例を通して考え、主体的に判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】一人の消費者であることを自覚し、現在の自分の消費行動から課題を見出し、その解決策に向けて取り組む。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1	

